

《3月》まちの健康情報

□自殺対策強化月間

毎年3月は自殺対策強化月間です。こころの不調（気分が落ち込む、夜眠れない、趣味や好きだったことが楽しめないなど）を感じることはありませんか？つらい時は、誰かに相談することが大切です。保健師による相談も実施しています。ご活用ください。

《健康相談》

電話相談や来所・メールによる相談を受け付けています。お気軽にご相談ください（メールの相談は回答に時間がかかる場合があります）。

- 対象：白老町にお住いの方
- 実施日時：祝日を除く月～金曜日 9時～16時
- メールアドレス：kenko@town.shiraoi.hokkaido.jp
- ※ 来所の場合は事前にご連絡ください。

<周りの人へ相談しにくいときは…>

悩みや年代によって選べる相談窓口（電話相談・LINE・オンラインチャットなど）があります。2次元コードを読み取るか、パソコン・スマートフォン等で「まもろうよ こころ」と検索してみてください。



【まもろうよ こころ】

□献 血

日 時	会 場
3月5日(木)15時～16時30分	北海道リハビリテーションセンター診療所

問い合わせ・申込先：健康子育て課 保健予防係 ☎82-5541

令和7年度白老町「みんなの基金」事業実績報告

9事業に1,349,000円

町民の自主的なまちづくり活動を支援するため、団体が行う事業に対して補助金（みんなの基金）を交付しています。今年度は本制度を活用して下記の9事業が行われました。（主催、実施日、参加人数、補助額）

■立体絵本イマーシブシアター 劇団すぎのこ 巡回公演の演劇（認定こども園白老さくら幼稚園PTA、11月28日、80人、補助額42,000円）園児たちが人形劇を鑑賞し、創造性を養いました。

■白老町サッカー教室（白老町蹴球連盟、1月5日～6日、48人、補助額190,000円）日本サッカー協会 参与・元日本代表 北澤豪氏らを招き、サッカー教室・講演会を開催しました。

■第56回国際現代書道展白老移動展・書道研究一葦会40周年記念事業（書道研究一葦会、6月4日～8日、411人、補助額250,000円）国際現代書道展の受賞作品の展示や講演を開催し、書道芸術活動の素晴らしさを多くの方に普及しました。

■TAKEURA ART PROMNADE（TAP、9月27日～10月6日、延べ1,500人、補助額250,000円）旧竹浦小学校の電飾とお祭りを開催。昨年度よりも多くの地域住民や来訪者が交流しました。

■とくいの食堂～あつまれ白老の美味しいもの～（とくいの銀行しらおい支店、12月3日、46人、補助額35,000円）地域の食材を使った料理を持ち寄り、食堂を開くことで参加者が交流を深めました。

■お楽しみコンサート企画（しらおい障がい者と手をつなぐ会、6月21日、115人、補助額126,000円）コンサートを開催、音楽文化に触れることの楽しさを体験しました。

■飛生の森づくりプロジェクト（飛生の森づくりプロジェクト実行委員会、6月1日～12月15日、320人、補助額250,000円）旧飛生小学校の森でワークショップを開催するなど、アートを通じた自然環境保全活動を行いました。

■ぐしゃぐしゃぐわしゃ（しらおい親と子の劇場、9月21日、60人、補助額131,000円）生の舞台を間近で見ることで、心豊かな子どもたちの成長につながりました。

■チャムチャム ザ☆ワールド（地域食堂世界バージョン・ぱんらんど）(NPO法人ウテカンパ、8月10日、181人、75,000円)町内在住の外国人とともに世界の食について学び、多文化・多世代で交流を深めました。

問い合わせ先：教育課 社会教育係 ☎85-2020